

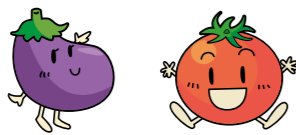
白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん！
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。
☎農林課 ☎22-1253



●7月の人気農産物

ナス、サヤインゲン、トマト、キュウリ、カボチャ など



馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日9:00～18:00
●場所 国道4号沿い馬牛沼付近
☎馬牛沼産直センター ☎25-0520
bagyunuma@yahoo.co.jp



小原いきいき直売所 11月末まで毎日10:00～15:00営業！
(悪天候により休業あり)

新鮮野菜や山野草、手芸品なども取り揃えています。
●場所 小原材木岩公園内
☎小原いきいき直売所 ☎29-2760

小十郎の郷 ～農産物生産者募集中～

年末年始を除いて毎日9:00～18:00営業！
●場所 JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内
(福岡長袋字八斗蒔)
☎小十郎の郷 ☎22-0881
http://www.kojuro-sato.com



青っ葉市直売所

月1回の「サービスデー」(定期市)を開催中！各店とも月初めの販売日に開催します。お買い上げ金額にかかわらずお好きな新鮮野菜1点をサービス！夏野菜(トウモロコシ、カボチャ、ナスなど)はいかがですか？
①ポーチパーク内 毎週水・土曜日9:00～12:00
②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば) 毎週水曜日9:00～12:00
③いきいきプラザ 毎週土曜日9:00～12:00
※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。
☎佐藤よし子 ☎25-8860

羽山朝採り市 毎週土曜日9:00～12:00

これからの季節が旬のナスやトマトなど、その日の朝に収穫したものを販売しています。皆さん、ぜひご賞味ください！
●場所 犬卒都婆公会堂前
☎小畑 胖 ☎27-2236

軽トラ市 毎週金曜日9:00～12:00

●場所 すまゝひろば
☎四竈 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

バーバ工愛市(クラブいち)

今月のオススメは、旬の野菜のほか、生花、おこわ弁当、漬物、笹巻きなどです。
①旧JAみやぎ仙南白石地区事業本部ななめ向かい (バーバ工愛市のオレンジ色のほり旗が目印です！) 毎週水曜日 9:00～12:00
②JAみやぎ仙南福岡支店構内店(旧あぐりハウス白石) 毎週土曜日 9:00～12:00
☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

白石産「トマト」はいかがですか？

大玉、中玉、ミニトマトと大きさだけでなく、果皮の色も赤色以外にオレンジや黄色など多彩です。特にミニトマトは、品種によって皮、甘味、酸味などに違いがあります。皆さん、この夏はさまざまな品種のトマトを食べくらべてみませんか？

おいしいトマトの選び方

全体が赤く染まり、重みがあるもの。皮に張りやツヤがあり、ヘタが緑色でピンとしているものが新鮮です。お尻(果頂部)を見たときに、放射線状のスジがきれい

に出ているものは、甘味が強いとされています。

【保存方法】

新鮮でかためのは、常温(15～20度前後)の涼しい場所で保存します。完熟したトマトは、ラップをするかポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室で保存し、なるべく早めに食べるようにしましょう。



応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

老我を寂しからんと招くらし娘の手料理うまさ格別
夫たりしひとへ届けん一念や友は声高く経を讀んず
腹立てず生きると曾て論しましし我が師と今は永久の別れす
八巻 渡
バイクやめて乗り始めたる自転車のペダルは老いの膝に重たし
高子うぶん
逝きし夫見送りてより数うれば息との暮らし百日を経つ
佐藤 啓子
山吹の花咲き出せば亡母を偲ぶ味を仕込めと数え呉れたる
山田 濱
じりじりと続く暑さの草むしり疲労が先にみえて辛
遠藤 舞
八十路過ぎて祭りの手伝いでできる身を己おどろき親に感謝す
大庭美智子
水張りし田圃に映る夏の雲くるまを降りて季節たのしむ
門脇 貞造
部屋をとおすツバメを見つけ棒を手に出口そちらと外へみちびく
鈴木 茂子

俳壇

山家 弘子 選

山藤の花の散りくる畦を塗る
別当内信夫
嫁ぎ来て七十年や柿若葉
高子うぶん
木道は殊に風呼ぶ水芭蕉
服部 忠孝
被災地を逃れて来たる鯉鱈
岩澤 伍峯
木を削るこけし村にも若葉風
沼田 菅火
月見草旅路に見たり夢二の忌
制野 リエ

柳壇

四電 英夫 選

残雪のまだらな蔵王夏を呼び
門脇 貞造
家中のベイス狂わせ孫婦る
草野 清
藤棚が道行く人の足を止め
別当内信夫
城跡にソラン踊り玉の汗
大庭美智子
待合室健老朽な身嗜み
阿部はぎの
庭に摘む夕餉の肴木芽和え
末吉アツ子
こんな日は見つけていたい朧月
佐藤 孝子
茄子漬の程よき色に友を呼ぶ
制野 リエ
花粉症癒えて若葉の深呼吸
佐藤 啓子
頼もしい伝統神楽守る子等
村上 照夫

平成26年度市民文芸年度賞が決定しました

受賞された皆さま、おめでとうございます。(敬称略)

 (四月号) 目を閉じてなぞりし今日の仕舞い風呂 佐藤 孝子	 (四月号) 米づくりアベノミクスの矢が欲しい 鎌田 三 典	 (二月号) ミレー展銀杏落葉を踏みしめて 大庭 美智子	 (十一月号) 露光る朝の鏡に紅を引く 制野 リエ	 (十一月号) 黒揚羽花野へ沈みそれつきり 高子 うぶん	 (六月号) 鳥打帽かぶる亡き義父が夢へみやげ両手に孫に会いに来 寺崎 悦子	 (十一月号) 夏を惜しみ鳴く茅焔の下のべに父母の墓ひやりとあり 門脇 貞造	 (一月号) 厨のこと早めに終えて老い一人しかなる夜や薬教うる 阿部 はぎの
---	---	---------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	---	---	---